令和４年６月 16 日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

従来の情報モラル教育の発展型
「デジタル・シティズンシップ」の授業を開催します

従来の情報モラル教育はネット依存症や SNS の影響等を題材に ICT の危険性を訴え、ICT の使用を抑制する傾向がありました。

しかし、今やデジタル社会の進展に伴い、ICT に関わることは避けて通れません。「使ってはいけない」から「どう使えばよいか」へと意識を転換していく必要がある中で注目されているのが、「デジタル・シティズンシップ教育」です。

デジタルシティズンシップ教育とは、デジタル化が進んだ社会の中で、他者と関わることを自覚しながら、自らが ICT をどう使えばよいか考えて責任を持った行動をするための教育のことです。

保護者と一緒にタブレット端末を使って参加

この授業は吉川市特任教育指導支援員大西（おおにし） 久雄（ひさお）先生が講師となり、インターネットの特徴等を伝えた上で、最終的には児童が自ら ICT の使い方、向き合い方について考えるプログラムとなっています。

今回は保護者も一緒に参加し、タブレット端末を使ってデジタル上のワークシートに考え等を入力し、意見の共有をする予定です。

概要

日時　６月 23 日（木）　午後１時 30 分～3 時
場所　中曽根小学校（中曽根 2-4）
対象　中曽根小学校３年生の児童・保護者

タブレット端末で自分の考えを入力

入力された児童の意見

この件に関するお問合せ先

- お問合せ：教育部学校教育課　☎048・984・3564